Viscuitについて



・勝谷嵩寛（作成担当）
・吉田壮亮(デザイン)
・牛島浩晶(監修)
・林征樹(考案者）

Viscuit

- 絵を動かすために、絵でプログラムを作るツール
- 多様なプラットフォームで動作：
  （Windows, MacOS, Linux, FreeBSD）
- フリーウェア(オープンソース)
- 多くの種類の入出力フォーマットをサポート
  （JPG, PNG, IFF, TIFF, TGA, PSD, AVI, MOV）

インストール方法

・本体は2007年４月の時点でVersion2.0が最新版です。

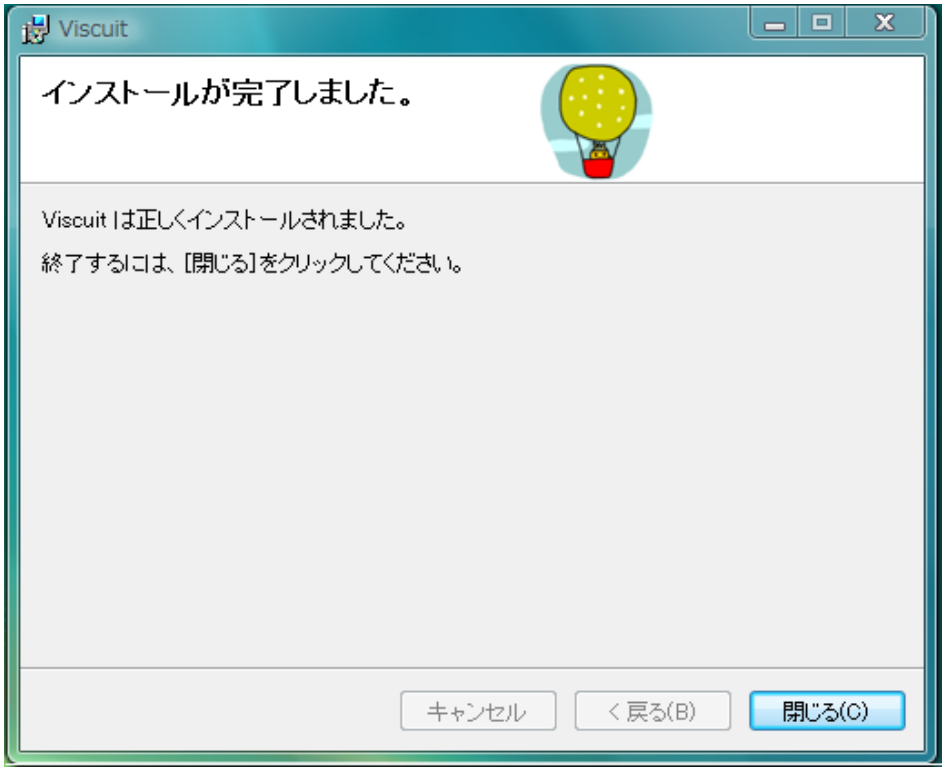
・以下のViscuit公式サイトから本体をダウンロードしてきます。

http://www.viscuit.com/download.html

・通常は以下のファイルを開きます。



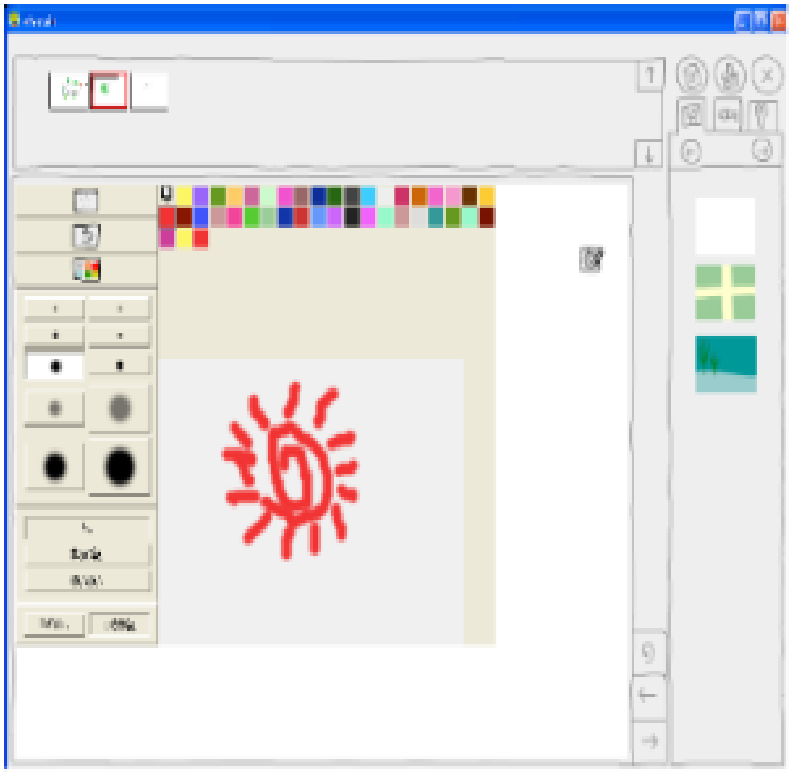
インストール方法2



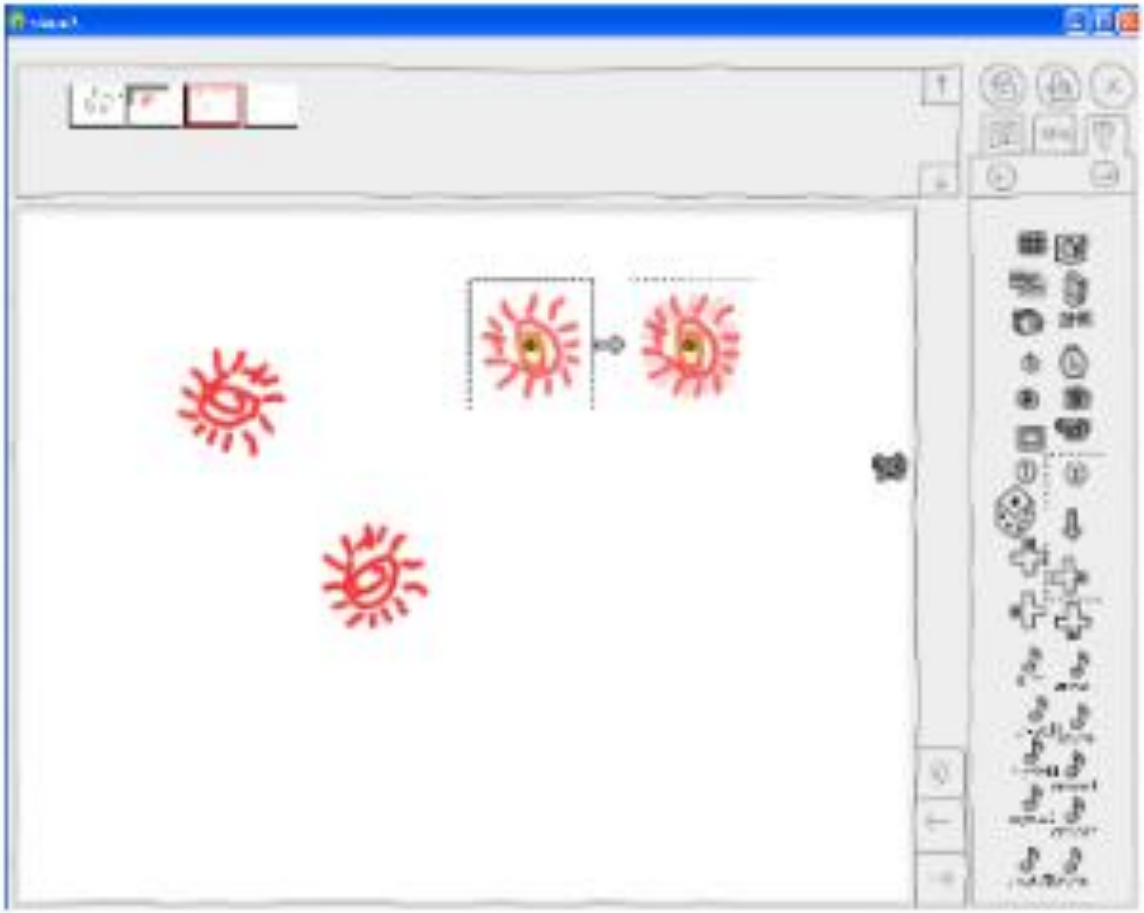
最後にこの画面が出ます。

閉じるクリックすればViscuitのインストールは終了します。

びすけっとでできること！



まず起動して、ペイントで絵を描きます。



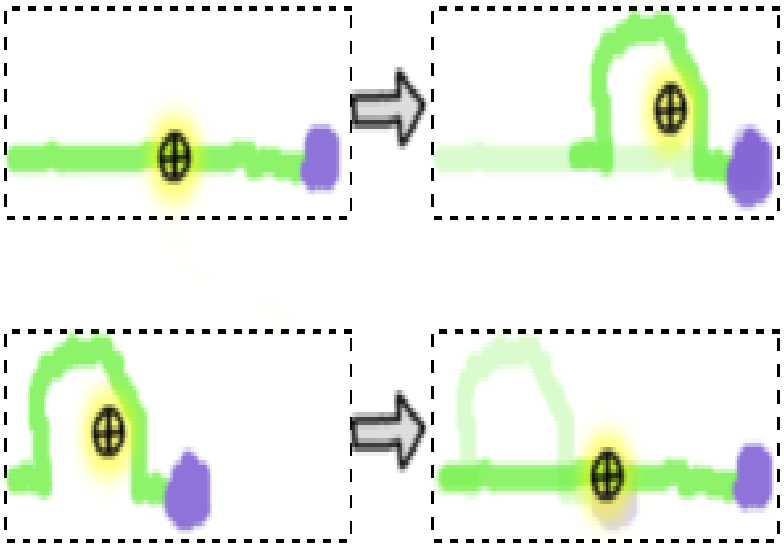
絵を並べて、





クリックするとすぐに動き出します。

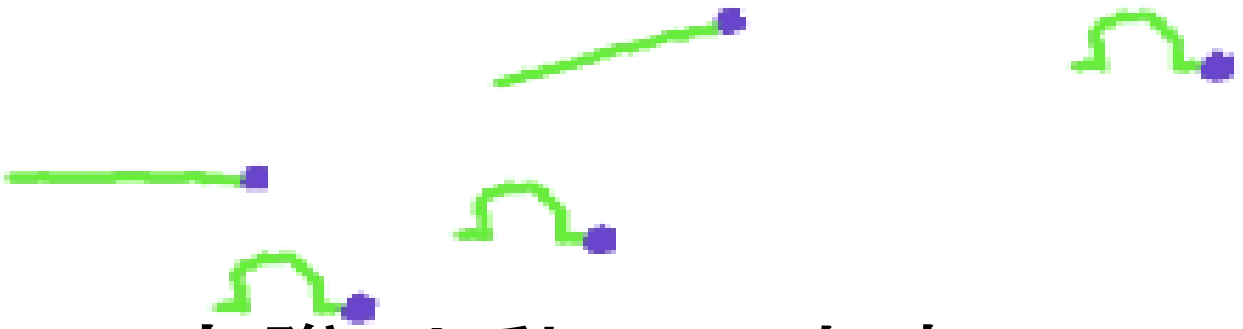
＊実際は動いてます



他にも、このように絵を並べると、

このような動きがすぐに出来ます。

つまり、ビスケットは簡単に絵でプログラムを作ることが出来るのです。

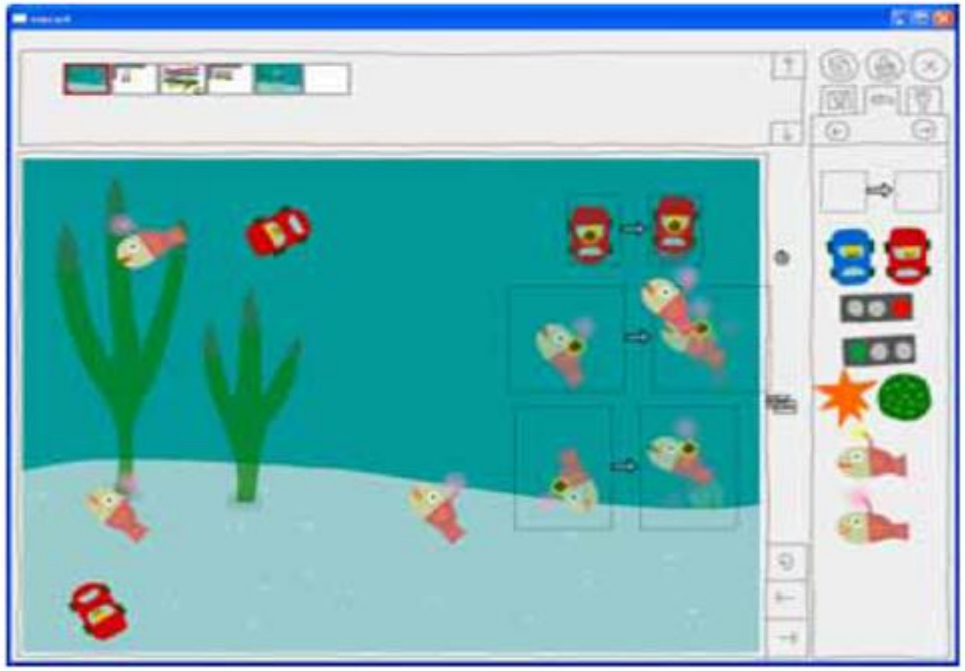


＊実際は動いてます

動いているのが見せられなくてほんと残念！！！！！

ビスケットによるFlash(フラッシュ)アニメの作り方

まず下の図のようにアニメーションをつくります.

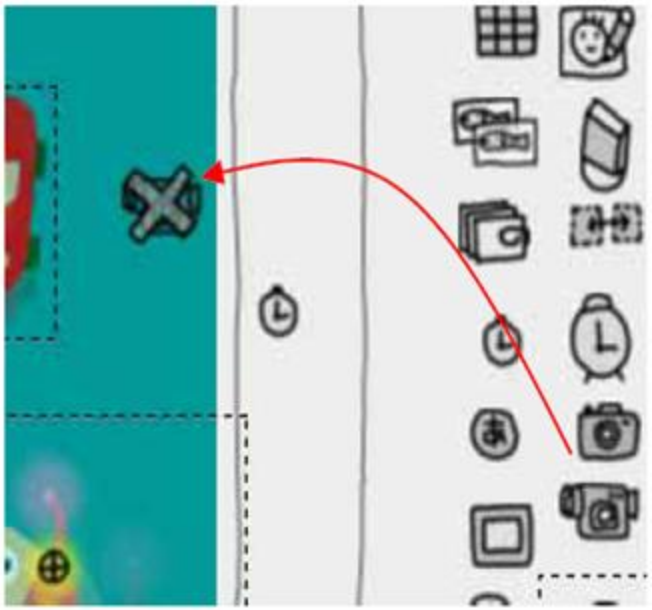




次に，ビデオカメラアイコンを探します.

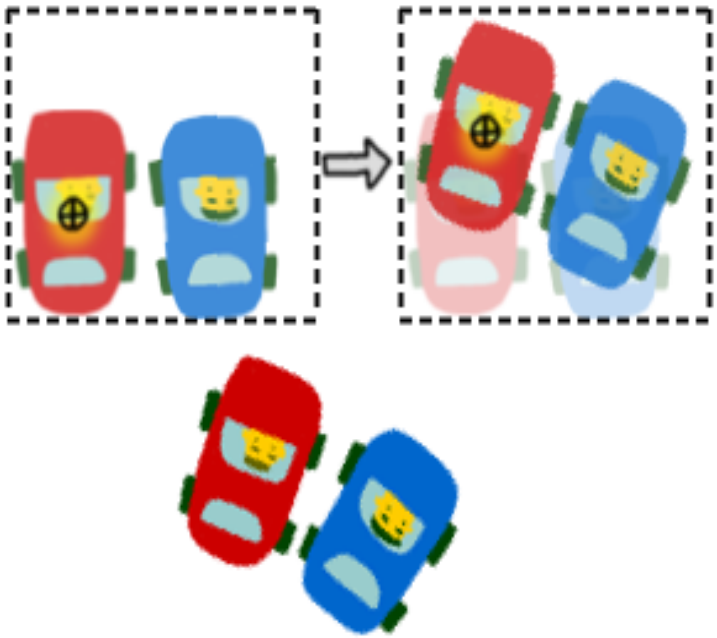
これが見つからなければ「本」ボタンの「しかけパレットの編集」を呼び出してビデオカメラアイコンをしかけパレットに追加してください.

ビデオカメラアイコンをページに持ってくると×印がつきます．これをクリックすると×印が消えて，録画が始まります．録画を終了させるにはもう一度アイコンをクリックします．これでアニメが保存されました



「ビスケット絵本」フォルダ(Windows ではマドキュメントの中，Mac では書類の中の Viscuit フォルダ)を開くと pagenameXXX.swf というファイルが出来ていると思います．これを開くとフラッシュアニメが見られるようになると思います．

複雑な動きを入りたてう



2つの「絵」がほぼ同じ動きをするので，動きは単純

本当は動きます、信じてください

参考URL

・viscuit

http://www.viscuit.com/

・本格的な説明・引用先のページ

http://www.viscuit.com/otona_section/index.html